



2018年8月10日

各位

会社名 共同ピーアール株式会社
 代表者名 代表取締役社長 谷 鉄也
 (コード番号：2436)
 問合せ先 専務取締役コーポレート本部本部長 西井 雅人
 (TEL：03-3571-5172)

2018年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2018年2月13日に公表いたしました2018年12月期第2四半期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績と実績値との差異

2018年12月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異(2018年1月1日～2018年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------------|--------------|-----------|-----------|-----------------|---------------|
| 前回発表予想(A) (2018年2月13日発表) | 百万円 2,110 | 百万円 95 | 百万円 92 | 百万円 78 | 円 銭 20円30銭 |
| 今回実績値(B) | 2,553 | 226 | 224 | 184 | 47円54銭 |
| 増減額(B-A) | 442 | 131 | 131 | 105 | — |
| 増減率(%) | 21.0 | 137.9 | 141.9 | 134.1 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2017年12月期第2四半期) | 1,934 | 79 | 76 | 60 | 16円49銭 |

(注) 1. 前回発表予想における1株当たり当期純利益については、2018年3月5日に払込が完了した第三者割当増資による株式数の増加を考慮しております。

2. 当社は、2018年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。これにより、1株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2018年12月期第2四半期個別業績予想と実績値との差異(2018年1月1日～2018年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------------|--------------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 前回発表予想(A) (2018年2月13日発表) | 百万円 1,880 | 百万円 74 | 百万円 71 | 百万円 64 | 円 銭 16円55銭 |
| 今回実績値(B) | 2,280 | 195 | 193 | 164 | 42円49銭 |
| 増減額(B-A) | 400 | 121 | 122 | 100 | — |
| 増減率(%) | 21.3 | 164.0 | 170.1 | 156.8 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2017年12月期第2四半期) | 1,733 | 57 | 54 | 45 | 12円28銭 |

- (注) 1. 前回発表予想における1株当たり当期純利益については、2018年3月5日に払込が完了した第三者割当増資による株式数の増加を考慮しております。
2. 当社は、2018年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。これにより、1株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、新たなリテイナー契約を獲得し、さらに雑誌広告や屋外広告などの出稿によりペイドパブリシティ案件を受注した結果、当初の業績予想を上回りました。

利益面につきましては、利益率の高いリテイナー案件の増加に伴い、営業利益が当初の業績を上回った影響を受け、経常利益、当期純利益も当初の業績予想を大きく上回る結果となりました。

なお、通期業績予想については、雑誌広告や屋外広告などの出稿の見込みが定まらないこと、当初予定していたスポット案件が次期に先送りになる懸念等があるため、2018年2月13日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたします。

見通しに関する注意事項

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と大幅に異なる場合があります。

以上